

保証書

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください

品名：ヨクテラス
製品型番：YW9188
保証期間：お買い上げ日より1年間

お買い上げ日：

お客様ご住所：
お名前：
電話番号：

販売店住所：
店名：
電話番号：

販売店様へ
ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、貴店住所、貴店名など）をご記入の上、当製品をご購入いただいたお客様にお渡しいたします。

よくしにさんぎょう

輸入・発売元：株式会社 芳国産業
電話番号：03-3843-7841（お客様相談室係）
郵便番号：111-0043
住所：東京都台東区駒形2-4-11

（受付時間：土・日・祝日・長期休暇期間を除く、平日午前10時～午後5時まで）

この商品に関するお問い合わせをいただく際は、商品名（ヨクテラス）もしくは製品型番（YW9188）をお申し出いただくと、より円滑にご相談いただけます。

アフターサービス

- ▼取扱説明書内の「故障かな?と思ったら(裏面)」を確認しても直らない場合はお求めの販売店、もしくは弊社「お客様相談室係」までご相談ください。
- ▼保証期間中は保証書の無料保証規定に従って、無料修理いたします。当製品に保証書を添えてお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」へお申し付けください。
- ▼保証期間経過後はお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」で有料修理を承ります。
- ▼外装部品やその他の付属品についての修理、製品交換などには類似の代替品を使用する場合があります。

無料保証規定

- 本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。
- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、当製品と本書をご用意の上、お求めの販売店へご持参いただくか弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
 - ご転居、ご購入品などで、お求めの販売店に修理依頼出来ない場合には、弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
 - 保証期間内でも、次のような場合には、有料修理となります。
 - ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障や損傷。
 - お買い上げ後の転倒や落下、輸送等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天変地変、公害や異常電圧、指定外の使用電源などによる故障や損傷。
 - 一般家庭以外（例えば業務用などの長時間使用など）でのご使用による故障や損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ご使用上のキズ、変色、汚れなど。
 - 取扱説明書内の「**当製品の使用場所について**」に記載されているような場所でご使用されたり、保管をした場合。
 - ※ 運賃、諸掛費用は基本的にお客様にてご負担いただきます。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。This Warranty is valid only in Japan.
 - この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - お客様にご記入いただいた保証書個人情報、修理・サービスに利用させていただく場合がございます。
 - お買い上げ後、1年を超えてご使用されない製品をはじめにご使用される際に、万が一不具合があった場合は有料修理となります。

by LANDEX
TOKYO ASAKUSA 1955~

電波掛時計 ヨクテラス 商品名

取扱説明書（保証書付）

⚠ 当製品はガラスを使用いたしております。ガラスが破損する
△注意 とけがの原因となりますので、取扱いに十分ご注意ください。



電池別売

単2電池2本
単3電池1本
アルカリ電池推奨

この度は当製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用いただきますよう、お願い申し上げます。なお、読み終わったあともお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

▼この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁止します。
▼当製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いません。

生産国：中国

IM No. YW9188

製品仕様

商品名：ヨクテラス
製品型番：YW9188
使用環境温度：+5℃～+40℃
本体サイズ：310(幅)×310(高さ)×62(奥行)mm
本体重量：約782g(付属品を除く)
時間精度(常温中)：±1秒/月(標準電波の受信に成功した直後)
±30秒/月(標準電波を受信していない場合)

自動受信：1日8回(午前1時、午前3時、午前5時、午前7時、午後1時、午後3時、午後5時、午後7時)

使用電池：単3電池1本(時計用)⇒(アルカリ電池推奨)
単2電池2本(自動点灯機能用)⇒(アルカリ電池推奨)
電池別売

電池寿命(時計用)：約1年(アルカリ電池を使用した場合)
電池寿命(自動点灯が“弱”の場合)：約8ヶ月(アルカリ電池を使用した場合。1日8時間想定)
電池寿命(自動点灯が“強”の場合)：約5ヶ月(アルカリ電池を使用した場合。1日8時間想定)

付属品：取扱説明書(保証書付)⇒本書
主な機能：・標準電波受信・秒針停止機能(午後10時～翌日午前6時まで)・標準電波自動受信機能・自動点灯機能(“弱”と“強”の2段階切替式)

時計の掛け方、掛け金具について

⚠ 当製品を掛ける壁の材質・構造をよくご確認のうえ、当製品の重さ
△警告 に十分耐えることが出来る掛け金具を必ずお選びください。

【時計の掛け方】
当製品を掛けるときは、必ず垂直な壁に取り付け、上下左右に軽く動かして、確実に掛かっている状態であることを確認してください。掛け方が不十分な場合、当製品が落下し、けがや当製品の破損の原因となります。



電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は国立研究開発法人情報通信研究機構が管理・運営しており、福島県「おたかどや山-40kHz」と福岡県・佐賀県の県境「はがね山-60kHz」の2か所から送信されています。条件の良い時は送信所から1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・置き場所・時計の向き・地形・建物・時間帯などの影響で受信出来ない場合がございます。その場合はクォーツ時計としてこの取扱説明書の**製品仕様**に記載された精度(標準電波を受信していない場合)で作動します。

標準電波、標準電波の送信状況に関する詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください。

〈国立研究開発法人情報通信研究機構〉
https://jij.nict.go.jp



▼標準電波の送信設備等の管理・維持の都合により、電波の送信が停止することがあります。

▼上記 URL は予告なく変更される場合があります。

電波時計の使用場所について

以下のような場所では、標準電波を受信出来ない場合があります。



●マンションやビルなどの地下



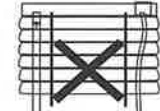
●高圧線、テレビ塔や電車の高架橋の近く



●電化製品やOA機器の近く



●自動車、電車、飛行機などの乗りものの中



●金属製の雨戸やブラインドの近く

- 工事現場、空港、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 金属製の家具の上など、電波を遮断する所。
- 周囲が山やビルなどに囲まれ、標準電波の入りが悪い所。

標準電波の受信について

標準電波の受信をしない場合

⇒電波発信局の方角に近い窓際に当製品を置いて、再度受信をお試しください。

⇒電池を一旦取り外して、夜間に電池をセットしなおし、窓際に置いて朝まで様子を見てください(夜間は昼間と比較して、標準電波の受信に成功しやすい傾向があります)。



電池をセットしたら、受信が完了するまで窓際に置いてください。



受信していないか、電池が消耗している可能性があります。電池が消耗している場合は、新しい電池と交換し、窓際で再度受信をお試しください。

※上の写真は使用場所のイメージです。写真中の展示物は付属品ではありません。※当製品を窓際に置く場合、直射日光が当たるなどして高温になる場所でのご使用はお控えください。また当製品が雨などに濡れないようご注意ください。

安全上のご注意（必ず守ってください）

ここに示す内容は、商品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前によくお読みの上、お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示内容を無視して、誤った使い方により生じる損害や危害の程度を区分する記号

⚠ 警告	人が死亡または重症などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性や、物的損害が生じる可能性を示しています。

必ずお守りいただく行為（強制）と禁止行為を区分する記号

⚠	必ず守らなければならない行為（強制）を示す記号です。
🚫	絶対にしてはいけない禁止行為を示す記号です。

▼電池について

- 🚫 分解、ショート(短絡)などをしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。また、火中に入れる、強い衝撃を与えるなど、絶対にしないでください。
- ⚠ 電池からもれた液が目に入った場合は、失明する恐れがありますのですぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣類などに付着した場合にはきれいな水で洗い流してください。
- ⚠ ・プラス(+)、マイナス(-)の方向を正しく入れてください。
・長時間使用しないときは、電池を必ずはずしてください。液もれにより当製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- 🚫 電池に直接ハンダ付けをしたり、水で濡らしたりしないでください。液もれや破損などの恐れがあります。
- ⚠ 電池を保管する際は高温・高湿な場所や直射日光が直接あたるところは避けてください。また、使用済みの電池はお住まいの地区自治体の廃棄方法に従って、速やかに廃棄してください。液もれや破損などの恐れがあります。
- 🚫 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。当製品が故障したり、不安定な動作などをする場合があります。
- ⚠ 電池を交換するときは、種類の異なる電池を混ぜないでください。また、電池の交換をするときは、全て新しい電池にしてください。
- ⚠ 電池の端子の汚れにより、当製品が使用できない場合があります。その際は乾燥したやわらかい布などで電池の端子を拭いて汚れをとってからご使用ください。

🚫 電池に推奨使用期間が表示されている場合、期間を過ぎた電池のご使用はお控えください。液もれや破損などの原因になります。

⚠ 当製品が使用可能でも液もれなどを防ぐために、定期的に電池交換をしてください。

▼誤飲による事故防止について

🚫 電池や部品は幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師の治療を受けてください。

▼梱包用袋について

🚫 梱包用の袋は絶対にかぶらないでください。また、幼児の手の届く所に置かないでください。

▼分解禁止について

🚫 当製品を分解したり、改造しないでください。故障の原因になります。

当製品の使用場所について

- 下記のような所では使用や保管をしないでください。
- ・温度が+40℃を超える所。例えば、直射日光や暖房器具の熱風が当たる所、火気に近い所や屋外など。
 - ・温度が+5℃より下になる所。
 - ・ほこりや塵が多い所。
 - ・湿気が多い所(加湿器の蒸気があたる所など)、水が直接掛かる所(当製品は防水ではありません)。
 - ・強い磁気のある所、激しい振動のある所。
 - ・多くの油を使用する所。
 - ・当製品が倒れたり、落ちたりしそうな不安定な所。
 - ・ビニール系素材の敷物の上や壁など(敷物や壁、当製品が汚れたり、傷んだりすることがあります)。
 - ・幼児の手が届く所。
 - ・防虫剤やアロマランプなどのすぐそば。
 - ・ガスなどの発生するおそれがある所(プール、温泉浴場など)。
 - ・塩害が想定される所。
 - ・電磁調理器の上やそのかたわらなど。

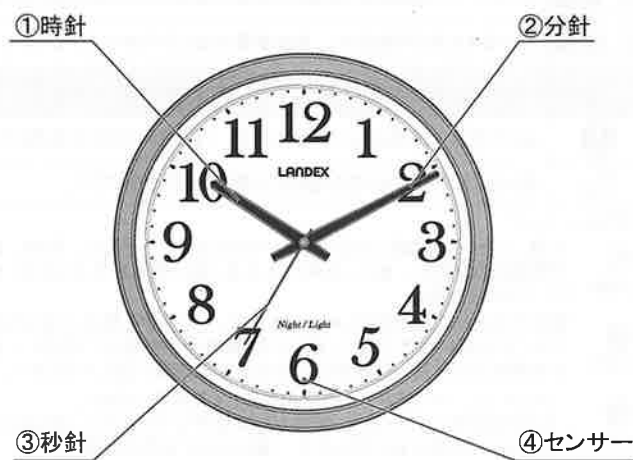
当製品、電池、梱包材などの廃棄

- ▼お住まいの地区自治体の廃棄方法に従ってください。
- ▼当製品、電池、梱包材などは分別して廃棄してください。

各部の名称

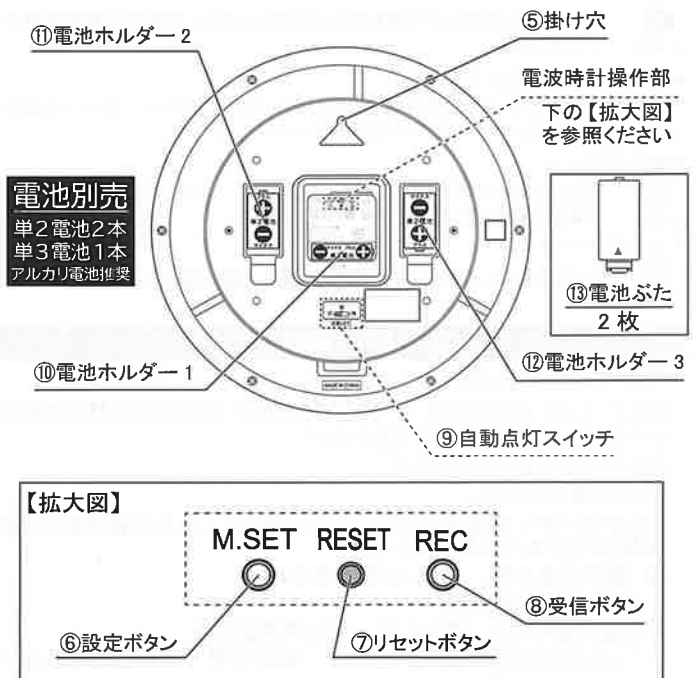
■本体正面（表示は一例です）

⚠ **注意** 当製品はガラスを使用いたしております。ガラスが破損する
とけがの原因となりますので、取扱いに十分ご注意ください。



- ①時針
時刻の“時”を示す針です。
- ②分針
時刻の“分”を示す針です。
- ③秒針
時刻の“秒”を示す針です。
- ④センサー
当製品をご使用いただく周辺の明るさを感知し、自動点灯を有効もしくは無効にする制御を行います。
▼ご使用いただく環境によっては昼間であっても自動点灯機能が有効になる場合があります。

■本体裏面（「⑬電池ふた」を開けた状態）



- ⑤掛け穴
当製品を壁に掛けるときに掛け金具を使用して固定する場所です。「**時計の掛け方、掛け金具について**（裏面）」をよくご参照のうえ、安全にご使用ください。
- ⑥設定ボタン
手動で時刻を設定するときに使用するボタンです。
- ⑦リセットボタン
当製品を初期状態に戻すときに使用するボタンです。
- ⑧受信ボタン
手動で標準電波の受信を行うときに使用するボタンです。

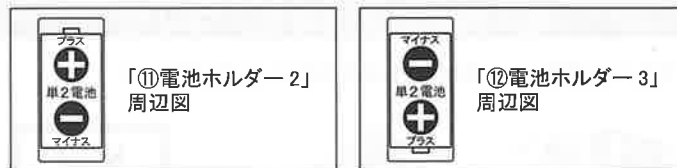
- ⑨自動点灯スイッチ
自動点灯機能のご使用状態を切替えるためのスイッチです。
- ⑩電池ホルダー 1
時計用の電池を入れる場所です。単3電池1本（アルカリ電池推奨）を入れます。
- ⑪電池ホルダー 2
自動点灯機能をご使用いただくのに必要な電池を入れる場所です。単2電池1本（アルカリ電池推奨）を入れます。
▼自動点灯機能をご使用いただくためには「⑩電池ホルダー 2」に電池を入れる必要があります。
- ⑫電池ホルダー 3
自動点灯機能をご使用いただくのに必要な電池を入れる場所です。単2電池1本（アルカリ電池推奨）を入れます。
▼自動点灯機能をご使用いただくためには「⑫電池ホルダー 3」に電池を入れる必要があります。
- ⑬電池ふた
電池の脱落などを防ぐためのふたです。「⑩電池ホルダー 2」用と、「⑫電池ホルダー 3」用の2枚となります。
▼紛失にご注意ください。

ご使用方法

【1】電池（別売）を入れて、標準電波の受信をはじめる

1. 自動点灯機能用の電池を入れる

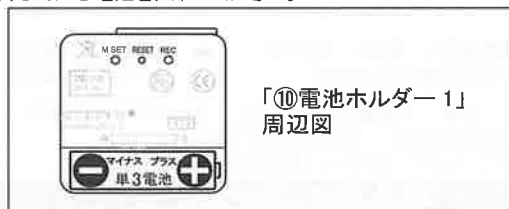
単2電池2本のプラス（+）とマイナス（-）をよく確認し、「⑩電池ホルダー 2」および「⑫電池ホルダー 3」にそれぞれ正しい方向で入れてください。電池に絶縁用のシートなどが付いている場合はそれらを取り外してから電池を入れてください。電池を2本入れたら、必ず「⑬電池ふた」を閉めてください。



- ▼電池交換の際はアルカリ単2電池をおすすめいたします。
- ▼充電電池は充電された状態であっても電圧が低く、当製品が正常に動作しない場合がありますので、ご使用しないでください。
- ▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。
- ▼自動点灯機能を使用しない場合は「⑩電池ホルダー 2」および「⑫電池ホルダー 3」の電池を外しておくことをおすすめいたします（液もれなどを防ぐため）。

2. 時計用の電池を入れる

単3電池1本のプラス（+）とマイナス（-）をよく確認し、「⑩電池ホルダー 1」に正しい方向で入れてください。電池に絶縁用のシートなどが付いている場合はそれらを取り外してから電池を入れてください。

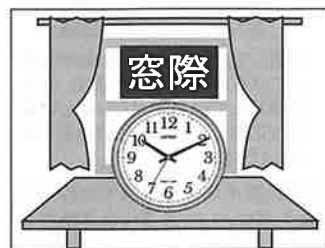


- ▼電池交換の際はアルカリ単3電池をおすすめいたします。
- ▼充電電池は充電された状態であっても電圧が低く、当製品が正常に動作しない場合がありますので、ご使用しないでください。
- ▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。

【2】標準電波の受信をはじめる

単3電池1本を「⑩電池ホルダー 1」に入れたら、「①時針」、「②分針」、「③秒針」が自動的に動きはじめ、12時の位置で停止して標準電波の受信を開始いたします。受信が終了するまで当製品を窓際などの比較的受信しやすい場所に置いてください。受信中は当製品を動かさないでください。

- ▼当製品が標準電波の受信に要する時間は受信状態（「①時針」、「②分針」、「③秒針」が12時の位置で一旦停止した状態）となってから、約4～12分です。
- ▼標準電波を正しく受信するために、取扱説明書内の「**電波時計の使用場所について**（裏面）」および、「**標準電波の受信について**（裏面）」をご参照ください。
- ▼受信中はボタン操作などをしないでください。ボタン操作などにより、受信精度が低下する場合があります。
- ▼正しく受信されたことを確認いただくまで、壁に掛けないことをおすすめいたします。



▼窓際に置く場合は、直射日光が当たるなどして高温になる場所での使用はお控えください。また雨などに濡れないようご注意ください。

【3】受信結果を確認する

1. 受信に成功した場合

受信に成功すると「①時針」、「②分針」、「③秒針」が動きはじめ、現在時刻を自動的に示します。

2. 受信に失敗した場合

受信に失敗すると現在時刻を示さず、12時の位置から「③秒針」が動きはじめます。このような場合は後述の（対処1）～（対処3）のいずれかの方法をお試しください。



標準電波の受信に失敗すると
“12時00分00秒”から「③秒針」
が動きはじめます。

（対処1）

この取扱説明書に記載されている、「**電波時計の使用場所について**（裏面）」および「**標準電波の受信について**（裏面）」を確認し、受信しやすい場所（「⑧受信ボタン」を操作（後述の「4」手動で受信させる）をご参照ください）したり、「⑦リセットボタン」操作するなどして、再度受信をお試しください。

（対処2）

一昼夜様子をみる（昼間は標準電波の受信を阻害する電波が多く存在する可能性があります。夜間は昼間と比べて標準電波の受信を阻害する電波が少ない傾向にあるため、受信しやすい環境になる場合があります）。

（対処3）

後述の「5」手動で任意の時刻に合わせる」を参照し、手動で時刻設定を行います。当製品には標準電波を自動で受信する、自動受信機能がついておりますので、受信環境が良い場合、手動で設定された時刻が自動的に補正されます。

【4】手動で受信させる

「⑧受信ボタン」を約3秒押し続けると、任意のタイミングで受信を開始することが出来ます。このとき「①時針」、「②分針」、「③秒針」が動きはじめ、12時00分00秒の位置で停止し、受信を開始します。



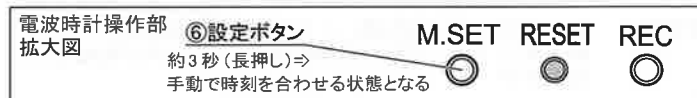
▼この操作で受信に失敗した場合、受信させる前の時刻に受信などに要した時間が加算された時刻が表示されます。

▼この操作で受信中に「⑥設定ボタン」もしくは「⑧受信ボタン」を約3秒間押し続けると受信を中止し、受信させる前の時刻に受信などに要した時間が加算された時刻が表示されます。

【5】手動で任意の時刻に合わせる

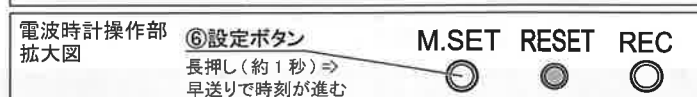
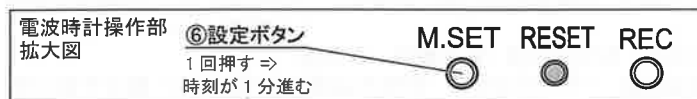
当製品は以下の手順に従って、手動で任意の時刻に合わせることが出来ます。
（手順1）「⑥設定ボタン」を約3秒押し続ける

「③秒針」が動きはじめ、12時の位置で停止し手動で時刻を合わせる状態になります。
▼秒針停止機能（後述の「**当製品の機能について**」内の「（機能2）秒針停止機能」をご参照ください）中は「③秒針」は12時の位置で停止したままです。



（手順2）任意の時刻に設定する

手動で時刻の設定をする状態において、「⑥設定ボタン」を1回押すと時刻が1分進み、長押し（約1秒）すると早送りで時刻が進みます。



（手順3）手動で時刻を合わせる状態を解除する

時刻を合わせ終えたら、「⑧受信ボタン」を1回押し、手動で時刻を合わせる状態を解除してください。時報などを参考に、タイミングよく「⑧受信ボタン」を操作することで、秒まで合わせることも可能です。

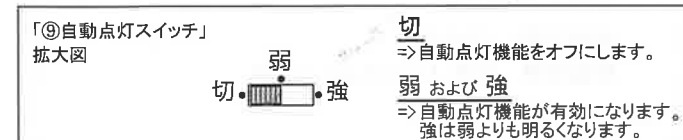


- ▼標準電波の受信中は、手動で時刻を合わせることは出来ません。
- ▼手動で時刻を合わせる際に約30秒間操作を中断するか、「⑧受信ボタン」を1回押し、手動操作で時刻を合わせる状態が解除されます。
- ▼手動で時刻を合わせる場合、「③秒針」を任意に操作することは出来ません。

当製品の機能について

（機能1）自動点灯機能

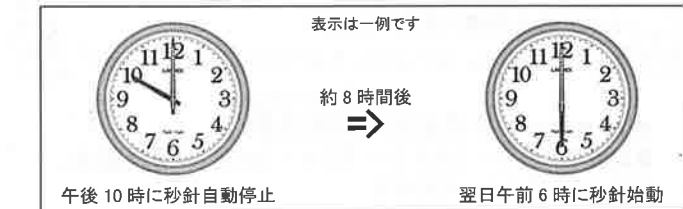
暗いお部屋などの中で当製品をご使用いただく場合でも、LEDライトをわずかに点灯させる自動点灯機能が当製品にはついております。「④センサー」により周辺の明るさが一定以下になるとLEDライトが自動で点灯し、一定以上の明るさになると自動で消灯いたします。



- ▼ご使用いただく環境によっては昼間であっても自動点灯機能が有効になりません。その場合、自動点灯機能用の電池（「⑩電池ホルダー 2」および「⑫電池ホルダー 3」の単2電池2本）の消耗が激しくなりますので、ご注意ください。
- ▼自動点灯機能が有効な時間が長くなると、電池寿命が短くなります。
- ▼「⑨自動点灯スイッチ」が強でのご使用は、弱に比べて電池の消耗が激しくなります。
- ▼自動点灯機能を使用しない場合は「⑩電池ホルダー 2」および「⑫電池ホルダー 3」の電池を外しておくことをおすすめいたします（液もれなどを防ぐため）。
- ▼LEDライトの特性上、ご使用時間が長くなるとお使いはじめと比べて明るさが低下いたします。

（機能2）秒針停止機能

当製品は午後10時から翌日の午前6時まで自動的に秒針が停止する秒針停止機能がついております。秒針停止中でも「①時針」、「②分針」は作動を続け時刻を刻みます。



- ▼秒針が停止することで、電池の使用量を削減するための機能です。
- ▼秒針停止機能を解除することは出来ません。

（機能3）標準電波の自動受信機能

当製品は自動的に標準電波の受信を行う時刻があらかじめ設定されております。自動受信で標準電波を正しく受信すると、時刻が自動的に補正される機能です。

- ▼当製品の自動受信は1日8回（午前1時、午前3時、午前5時、午前7時、午後1時、午後3時、午後5時、午後7時）となっております。
- ▼自動受信機能を解除することや、自動受信が開始される時刻の変更することは出来ません。

電池の交換について

当製品にご使用いただく電池は時計用と自動点灯機能用に分かれております。
（電池交換）時計用
時刻が遅れる、時計が止まる、標準電波の受信がされない、時計の動作が不安定であるなどといった時計に関する問題が確認された場合は「⑩電池ホルダー 1」の単3電池1本（アルカリ電池推奨）を新しいものと交換してください。
（電池交換）自動点灯用
時計が正常な動作をしていても、自動点灯の明るさが暗くなる、点灯しない、点滅をする場合は「⑩電池ホルダー 2」および「⑫電池ホルダー 3」の単2電池2本（アルカリ電池推奨）を新しいものと交換してください。

故障かな？と思ったら

- => (症状) 時計が止まる
時間が遅れる
(対処) 電池の消耗が考えられます。新しい電池と交換して、様子みてください。
- => (症状) LEDライト（自動点灯）が暗い
点灯しない、点滅する
(対処) 電池の消耗が考えられます。新しい電池と交換して、様子みてください。
- => (症状) 使用中に時間がずれてきた
(対処) 標準電波の自動受信に失敗している可能性があります。場所を変えて受信をお試しください。
- => (症状) 標準電波の受信をしない
(対処) 標準電波を受信しにくい環境下にあることが予想されます。取扱説明書内の「**電波時計の使用場所について**（裏面）」および「**標準電波の受信について**（裏面）」をご確認いただき、受信しやすい環境で、再度お試しください。
- => (症状) 「③秒針」が停止している
(対処) 当製品は午後10時から翌日午前6時まで「③秒針」が停止する秒針停止機能がついております。停止中の時刻をご確認ください。

お手入れのしかた

ケースなどを拭くときはシンナー・ベンジン・スプレー式クリーナーなどは使用しないでください。汚れがひどいときは石鹸水または水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に浸してよく絞ってから拭き、乾いたあとに乾燥した布で拭いてください。また殺虫剤、防虫剤やヘアースプレーなどもかからないようご注意ください。

- ▼製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。
- ▼印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の製品と異なる場合があります。